

# ふくいで 働くこと 決めたい日。

専門知識を  
地域の生活と発展に  
役立てたいから

暮らしを守る  
仕事に  
感動したから

広い視点で  
子どもたちを  
支えたいから

福井の魅力を  
多くの人に  
伝えたいから!

福井県職員募集案内2026

## なぜ公務員になったの?

この選択には理由がある

福井県は、幸福度日本一に代表される充実した社会基盤をはじめ、悠久の歴史に育まれたくらしや文化、自然風土など、オンリーワンの魅力あふれる県です。福井を代表するコンテンツである恐竜は全国的な認知度を誇り、令和7年4月には、国内初の「恐竜学部」が福井県立大学に開設され、全国の学生、研究者からも注目を浴びています。また、北陸新幹線福井・敦賀開業により生まれた賑わいを最大限活用し、Uターンや魅力ある仕事づくりを進めるとともに、子育て支援や教育の推進、医療・福祉の充実を図り、子どもからシニアまで、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指しています。

## 福井はこれから「もっとおもしろく」なります。 福井県職員の一員として、一緒に福井の未来を創り上げていきましょう。

各  
部  
局  
の  
紹  
介  
(令和7年度)※このほか教育庁、会計局などがあります。

### 総務部

県の財政運営や税務、職員の人事や人材育成、広報や県民からの意見広聴、法制、市町との協働など、県庁の組織の運営と地方自治に必要な業務を担います。

### 交流文化部

恐竜、食、歴史をはじめとする福井の魅力を活かした観光戦略や、文化・スポーツの振興など、国内外から多くの人を呼び込み、交流人口を拡大するための様々な政策を担います。

### 産業労働部

ものづくりが盛んな本県の強みを活かし、繊維・眼鏡や伝統工芸など地場産業の支援、新技術の開発、販路開拓、創業・ベンチャー支援など産業・商業の振興に関する幅広い政策を担います。

### 未来創造部

県政の重要施策や地方創生に係る戦略の策定および実行、DX推進、女性活躍や若者チャレンジの応援、交通・まちづくりなど県の将来に向けた政策の立案、推進を担います。

### エネルギー環境部

再生可能エネルギーなど様々なエネルギーの導入・利活用や省エネ政策、電源立地地域の振興、ごみの減量化、自然環境の保全など、本県のエネルギーや環境保全に関する政策を担います。

### 農林水産部

「コシヒカリ発祥の地」である本県が新たに開発したブランド米「いちほまれ」や全国に誇る「越前がに」をはじめとする福井の豊かな「食」と、それを支える農林水産業の振興を担います。

### 防災安全部

地震・豪雨・豪雪をはじめとする自然災害への対応、原子力の安全対策、交通事故や消費者トラブルの未然防止対策など、県民生活の安全・安心に関する政策を担います。

### 健康福祉部

日本一幸福な子育て県「ふく育県」を目指した子育て環境の整備や、保健・医療・福祉政策の推進など、子どもから高齢者まで安心して暮らすことができる地域づくりを担います。

### 土木部

DXを駆使した道路・河川・ダム・港湾等の重要インフラの整備や維持管理、住宅の耐震化や空き家対策による豊かな住環境の実現など、ふくいの新時代に向けた県土の基盤づくりを担います。

## 職員の様々なチャレンジ

福井県庁は、職員の様々なチャレンジを応援しています！

チャレンジに挑む職員の紹介動画はこちら



View more

## 01 若手職員の自由な発想を事業化 チャレンジ政策提案

チャレンジ政策提案とは、「新しいことにチャレンジしたい」若手職員を後押しする制度です。職員が自由な発想で自ら考えた政策の実現を目指し、部署の垣根を越え、自発的にチームを編成し、知事に直接政策を提案できます。提案によっては予算編成手続きを経て事業化していきます。



## 02 勤務時間の20%で他分野にチャレンジ ふくい式20%ルール

自分の通常の勤務時間を100%とした場合、そのうち20%を担当業務以外の活動に充てることができる制度です。例えば、部局横断で課題解決を図る「タスクフォース」への参加や、知事に直接政策を提案する「チャレンジ政策提案(左欄)」、自分の専門性や経験を活かして他部署の専門的業務にスポット的に参加する「庁内セカンドワーク」などの活動ができます。

- 指定課題解決型** 担当課が課題を指定し、職員を公募してタスクフォースを結成して政策企画を行う。
- 自主提案型** 職員が自ら課題を設定し、タスクフォースを結成して政策企画を行う。
- 庁内セカンドワーク型** 特定分野の専門性・経験を持つ職員が、スポット的に専門業務に参画する。

## 03 チャレンジは新たな舞台へ 省庁・民間企業への長期派遣研修

「省庁や民間企業での業務を経験してみたい!」「行政以外の視点から事業の企画立案を経験してみたい!」そんな若手職員のチャレンジを後押しするのが「派遣研修制度」です。より広域な視点から政策を立案する力や、民間企業ならではの視点から事業を企画する力を習得し、県政にフィードバックしてもらうため、希望する若手職員を1~2年程度の期間、中央省庁や民間企業等に派遣しています。また、国際的に通用する語学力や専門知識習得のため、外国大学院への派遣(留学)も行っています。

- ▶**令和7年度派遣先[例]**  
総務省、経済産業省、全日本空輸(ANA)、日本総合研究所等
- ▶**外国大学院への派遣先[例]**  
フィンドレー大学大学院(アメリカ)  
イーストアングリア大学大学院(イギリス)

### 福井県庁のワークスタイル

福井県庁では、コミュニケーションの活性化や柔軟で快適な働き方の実現を目指した交流スペース「FIKA BASE」の設置や「フリーアドレス制」を導入しています。

## 派遣職員紹介

齊藤 茉優  
自治体国際化協会パリ事務所派遣[令和元年度採用]

### ▶派遣先の概要と、主な仕事内容は?

私が派遣されている自治体国際化協会(CLAIR)は、自治体の国際化を支援する一般財団法人です。東京本部のほか、世界7か国に事務所を設置しており、海外の地方行政制度や地域活性化の方策に関する情報を収集・提供し、日本の地方制度や地域に関する情報を海外に発信するとともに、自治体による国際活動や交流を支援しています。

CLAIRへの派遣は東京本部1年、海外事務所(パリ事務所)2年の計3年です。東京本部では、自治体間交流の支援を担当し、現在はパリ事務所での日本の伝統工芸品の展示・販売イベントの企画や、自治体の海外活動支援、フランスでの自治体の地域産品のPR活動を行っています。

### ▶派遣研修を希望した理由は?

前部署が福井県産品の販路拡大を支援する部署であり、海外と関わるスケールが大きな業務に興味を持ちました。中でも、海外自治体との交流、またインバウンド観光客への魅力発信などの業務に関わりたくて、CLAIRへの派遣研修を希望しました。海外勤務や他自治体との交流を通じて視野が広がり、福井の魅力や再認識できたことから、研修に参加して良かったと感じています。





多くの人に伝えたいから  
福井の魅力を

## 行政

牧野 花泉

インバウンド交流課 [令和7年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

福井県における外国人観光客(インバウンド)を増加させるため、受け入れ環境の整備に取り組んでいます。具体的には県内市町の宿泊施設が外国人観光客に対応できるよう、環境整備を行う際の補助や、北陸3県で連携したインバウンド誘客事業、そのほか県内を案内して文化や伝統を紹介する通訳案内士の確保を担当しています。

### ▶県職員を志望した理由は？

大学時代を県外や海外で過ごす中で、帰省した際に福井の居心地の良さを再認識しました。一方で、県外・国外における福井県の認知度がとても低いことも痛感し、福井の魅力をもっと多くの人に伝えたいという思いが芽生えました。県職員であれば、幅広い分野で福井に貢献できると考え、志望しました。



広い視点で  
子どもたちを支えたいから

## 福祉・心理

古賀 捷平

児童・女性相談所 [令和7年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

児童心理司として、子どもとの面談や心理検査を行い、そのやり取りから得られた情報をもとに、児童福祉司と連携しながら支援に取り組んでいます。子ども自身や家庭が抱える課題と一緒に考え、家族関係の調整や関係機関との連携など、より良い環境づくりを目指しています。

### ▶県職員を志望した理由は？

入庁前は民間の児童福祉施設で、入所している子どもたちの生活支援に携っていました。やりがいを感じていましたが、現場だけでは支援に限界があることも実感しました。そうした経験から、より広い視点で子どもたちを支えられる行政の仕事に魅力を感じ、県職員を志望しました。



多方面から  
農業を支える仕事に  
魅力を感じたから

## 農学

佐々木 雅

農業試験場 園芸研究センター [令和7年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

福井県産シャインマスカットの早期収穫技術の開発を行っています。福井県では冬の日射量が少なく、気温が低いため、8月下旬頃からしか収穫できませんが、お盆の時期に出荷できれば高値で販売できるため、農家の所得向上が見込めます。また、県農業試験場で開発された、種なしで皮ごと食べられる赤色系ブドウの新品種「福井GR1号」の栽培試験を行っています。

### ▶県職員を志望した理由は？

大学で福井県の農業の魅力や課題について学ぶ中で、普及・研究・政策といった多方面から農業を支える県職員の仕事に魅力を感じました。県の農学職であれば、農業に関わりながら、県庁や研究施設、農林総合事務所など、県内全域にある様々な部署を経験することで自分も成長できると考え、県職員を志望しました。



清水 安紗美  
福井農林総合事務所 [令和7年度採用]

## 林学

林業の振興施策の企画立案のほか、県産材の利用促進、林業の担い手の育成・確保、林道の整備、森林育成・木材の有効利用技術の研究開発などに従事します。

### 本庁

県産材活用課、森づくり課 など

### 出先機関

農林総合事務所、総合グリーンセンター など



笹木 玄徳  
丹南土木事務所 [令和7年度採用]

## 建築

住宅政策の企画立案のほか建築物の安全・安心を確保するための審査指導、県の施設の設計監理を行います。

### 本庁

建築住宅課、公共建築課、都市計画課、文化課、交通まちづくり課 など

### 出先機関

土木事務所 など

## 機械・金属

企業の技術開発を支援するため、原材料や製品の機能・性能の分析・評価、新素材・新加工技術等の研究開発などに従事するほか、県の機械設備や施設の計画・設計・監理を行います。

### 本庁

公共建築課、産業技術課、財産活用課 など

### 出先機関

工業技術センター、土木事務所 など



川柴 慎太郎  
工業技術センター [令和6年度採用]

## 土木(総合)

福嶋 未空

福井土木事務所 [令和4年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

主に道路の維持管理や整備を担当しています。具体的には、横断歩道橋の補修、道路照明・標識・区画線の新設、街路樹や消雪設備の維持管理などを行っています。県民のみなさんが安全で快適に道路を利用できるよう、日々現場で関係業者との調整をしながら業務を進めています。

### ▶県職員を志望した理由は？

学生時代に福井県内で起きた土砂災害の現場を目の当たりにし、その被害の大きさに驚きました。短期間で仮設道路が整備され、復旧する様子に感動し、「地域の暮らしを支える仕事の重要さ」を強く感じました。この経験が、公共のために働ける県職員の仕事への興味につながり、志望しました。

## 電気

高野 幹太

テクノポート福井浄化センター [令和2年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

福井市・坂井市にまたがる工業団地「テクノポート福井」内の浄化施設で、工場から排出される下水を自然界に放出しても問題ないよう処理する業務を担当しています。24時間体制で下水を安定して処理できるよう、設備の管理・保全のほか、異常があった時には緊急対応も行うなど、地域の産業活動を支えています。

### ▶県職員を志望した理由は？

県外の大学に進学していたので、そのまま県外で就職するか、地元へUターンするかで悩みましたが、Uターンを選択肢として考えるにあたり、電気系の知識を活かしながら、自分の家族や地域の暮らしを支える公務員に興味を持ち、中でも幅広い分野で地域の発展に関わることができる県職員に魅力を感じ、志望しました。

## 化学

高橋 凧

原子力環境監視センター [令和5年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

原子力発電所周辺の住民の安全・安心を守るために、主に嶺南地域の海水や海藻などを採取し、分析・評価や放射線量のチェックをしています。結果を集約して関係各所に報告し、地域の安心につなげています。緊急時に備えたモニタリング訓練の運営にも携わっています。

### ▶県職員を志望した理由は？

地域の安全と安心に関わる仕事がしたいと考え、公務員を志望しました。元々理科の実験が好きで大学では化学を専攻していました。県職員であれば原子力関係施設や健康福祉センターなど、化学の知識を活かせる職場が多様で、幅広く社会に貢献できる点に魅力を感じ、志望しました。



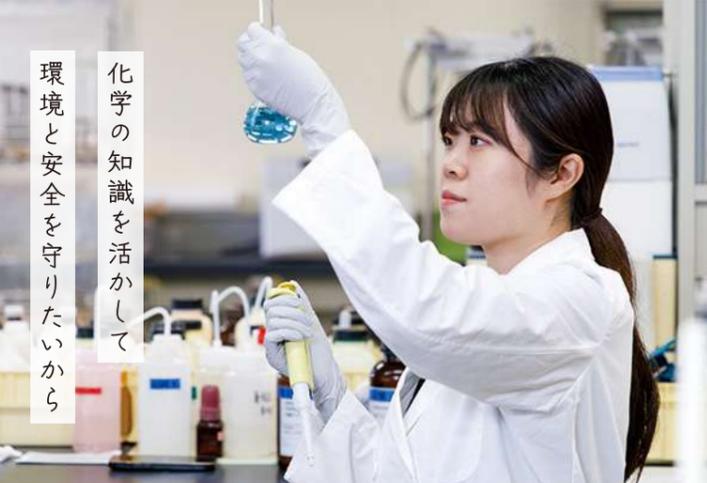
暮らしを守る仕事に  
感動したから

## 警察行政

安全で安心な福井の実現を目指し、警察官とともに働き、予算編成、職員の福利厚生、情報システムの開発、交通管制、運転免許証の交付、犯罪の分析統計などの警察行政の事務に従事します。【主な配属先】県警本部、県内各警察署 など



地域の生活と  
電気の知識を  
発展に役立てたいから



化学の知識を活かして  
環境と安全を守りたいから

## 小・中学校事務

家庭、地域、学校を結び、児童・生徒が勉強しやすい教育環境を整備するため、会計経理、文書管理、学校施設の維持管理など学校運営全般にわたる業務を担当します。【主な配属先】県内市町立小・中学校



荒井 遼  
水産試験場 海洋資源研究センター [令和6年度採用]

## 水産

水産業の振興施策の企画立案、漁業等の許認可、資源管理の推進のほか、水産試験場等での水産資源・海洋環境の調査研究、種苗生産技術の研究開発などに従事します。

### 本庁

水産課、流通販売課 など

### 出先機関

水産試験場(栽培漁業センター、内水面総合センター)など

# キャリアパス

様々なキャリア形成を支援する人事制度と異動サイクル

新採用職員は本庁のほか、県内全域の出先機関(県税事務所・健康福祉センター・土木事務所等)に配属されます。入庁後10年程度は様々な職場を経験できるように本庁や出先を2~3年程度、中堅職員は5年程度のサイクルで異動します。「チャレンジ制度」や「庁内FA制度」を活用し、希望する部署で専門性を高めることもできるなど、様々なキャリアを選択することができます。また、毎年異動前に希望を伝える機会も設けられています。



View more



地域の未来を創る！  
あなたの行動が

## ディレクター

朝井 範仁  
知事公室ドローン活用ディレクター  
[平成20年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

災害対応・物流・土木・農林業といった多様な分野において、人手不足や安全確保などの課題を解決するため、無人化技術であるドローンを活用した新しい社会の構築を進めています。具体的には、福井県をフィールドとして、都市圏の最新技術を利用した実証実験のコーディネートや、ドローン関係者へのヒアリング、ドローン人材の育成に向け

た操作訓練やセミナーのプレゼンター、新たなドローン事業の企画立案等を実施しています。

### ▶受験者の方へメッセージ

県職員は地域の社会的インフラをつくり、守る仕事です。自分が働くこと、その行動の全てが社会貢献に結びつき、そして地域の未来をもつてることができます。このような貴重な体験や時間をぜひ一緒に共有しませんか？

### ▶ディレクターとは

「県職員の業務や職場環境の魅力発信」「県民のチャレンジ応援」など、プロジェクト別に30代後半から40代中盤の中堅職員をディレクターに抜擢しています。ディレクターは管理職である課長相当の職で、プロジェクトに関連する分野の各部の若手職員とともに部局横断的なチームを結成するなど、県政の重要課題解決に向けて取り組んでいます。



挑戦と創造で  
もっと魅力ある福井に！

## 幹部職員

岩下 美樹  
県民安全課 課長[平成5年度採用]

### ▶現在の仕事内容は？

交通安全や防犯への意識啓発、青少年の健全育成、消費生活の安全確保に関する情報提供等を通じ、県民の皆様が安全・安心で健やかに暮らせる地域社会づくりを推進しています。

私は課長として、幅広い分野の施策を総合的に統括するとともに、課員の働き方にも気を配り、組織全体の力を最大限に発揮できる環境づくりを担っています。



### ▶受験者の方へメッセージ

入庁以来、地域を支える様々な業務に携わってきました。どの仕事も、県民の安心や希望につながることを実感でき、大きなやりがいと誇りを感じています。県庁には、創意工夫を活かして挑戦できる環境があります。現場の声に耳を傾け、仲間と力を合わせて取り組むことで、着実に成果を生み出すことができます。これからの行政には、変化に柔軟に対応し、創造的に考え、地域社会と協働して実効性のある施策を実現する力が求められています。

私たちと一緒に、魅力ある福井の未来を築いていきましょう。

# 多様なワークスタイル

ライフスタイルに合わせ、多様で柔軟な働き方を実践している先輩の声

自宅やサテライトオフィスから勤務が可能なテレワーク、決裁文書の電子化により業務効率を高めるペーパーレス、自由に席を選べるフレアドレスを導入し、働きやすい環境づくりを進めています。



View more



家族と一緒に  
成長を見届ける喜び

## 育児休業制度

松田 優拓  
商業・市場開拓課[平成29年度採用]

### ▶育休を取得したきっかけと利用した感想は？

周囲から育児の大変さや成長を見守る時間の大切さを聞き、第1子の誕生に合わせて約3か月間の育休を取得しました。

制度を利用したことで、家族全員が支え合いながら、子どもの生後間もない大変な時期を乗り越えることができました。眠っている時間が長かった我が子が、だんだんと人を目で追い、笑うようになるなど、成長の瞬間を間近で感じられたことは何よりの喜びです。育休を取得して本当に良かったと感じています。

### ▶育休を取得する際に不安はありましたか？

育休取得にあたっては、担当業務の引継ぎや育休取得の手続きがきちんとできるかが不安でしたが、上司や同僚、関係部署の皆さんのサポートがあったおかげで安心して育休に入ることができました。

年度末に育休を取得したため、復帰の際には育休取得時のメンバーは異動してしまったのですが、新しい職場の方々が温かく迎えてくださり、安心して業務に復帰できました。



柔軟な働き方で  
仕事も子育ても  
自分らしく

## テレワーク

河合 義文  
人事課[平成23年度採用]

### ▶制度を利用した感想は？

通勤時間がなくなり、家族との時間や家事に充てられる時間が増えて嬉しく思っています。在宅勤務中も、自宅のパソコンから職場のシステムにアクセスできるので、特に不自由さは感じません。チャットや電話、WEB会議を活用し、上司や同僚とも意思疎通がとれています。ただ、毎日テレワークだと、職場の雰囲気やチーム内のちょっとした会話のニュアンスが分かりにくいときもあるので、出勤時は対面での交流を意識しています。

### ▶福井県庁の「働き方」についてどう思いますか？

働きやすい環境が整い、電子化も進んでいるため、テレワークは当たり前の働き方として定着しています。年休や夏季休暇など、各種休暇も取得しやすく、育休は男性では最低1か月以上は取得することとしています。私も2か月取得し、子育てに携わることができました。早出勤やフレックスタイムも活用でき、自分のライフスタイルに合った働き方ができます。

## 給与

試験区分	初任給(月額)※地域手当を含む
I種	240,000円 (大学卒の場合)
II種	221,600円 (短大卒の場合) 208,800円 (高校卒の場合)

令和8年4月に採用される人の初任給の標準額

※初任給は、採用職種によりこの金額を超える場合があります。

※職歴のある方については、左欄初任給の額に一定の基準で算出された額が加算される場合があります。

【例】35歳で、大学を22歳で卒業後、民間企業等で正社員として継続勤務している場合の初任給34~35万円程度  
※超過勤務手当10時間程度、子1人の扶養手当を含む。

このほか、職員の家族状況、勤務状況等により次の各種手当が支給されます。(扶養手当、住居手当、通勤手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当等)

## 各種休暇等制度(一例)

年次有給休暇をはじめ、様々なシーンに応じた休暇制度があります。  
【例】●年次有給休暇(20日) ●夏季休暇(5日以内) ●結婚休暇(7日以内)

### 【主な子育て支援制度】

- 産前産後休暇
- 育児休業
- 育児短時間勤務
- 育児部分休業
- 出産補助休暇
- 育児参加休暇
- 家族看護休暇
- 出生時育児休業(産後/パパ育休)
- 出生サポート休暇(不妊治療休暇)

各制度の詳細はこちら



## 勤務時間等

●月曜日～金曜日 8:30～17:15 ●完全週休2日制

※交代制により夜間や土・日曜日勤務を行う職場もあります。※早出勤勤務、テレワークも可能です。※フレックスタイム制度の活用により、週休3日等、柔軟な働き方も選択できます。

## 男性育休の取得促進

福井県では、男性、女性関係なく皆で家事・育児を楽しむライフスタイルを推進しています。

福井県職員の育児休業取得率(令和6年度)

女性 100% 男性 100%

20代 ..... 30代 ..... 40代以降



上司の指示を受け、基本的な知識・スキルを学びながら、政策立案や担当業務に従事します。

グループリーダーや組織の中堅職員として、専門知識や経験を活かし、政策立案や担当業務に従事し、後輩の指導も行います。

課の政策決定およびマネジメント、人材育成や職場環境づくりも行います。

部の政策決定およびマネジメントを行います。



※一般的な職制です。昇任は勤務成績や経験などにより決定します。

プロジェクトヒストリー

中堅職員が過去に経験した事業や体験談を紹介▶

やりがいのある仕事です！

地域の未来を支える

経験を活かして



# UIターン職員

宮下 朋之

経営改革課[令和4年度採用]

## ▶福井県にIターンした理由は？

妻の地元である福井県あわら市には、以前からよく訪れており、豊かな自然と人のあたたかさに魅力を感じ、子育て環境としても理想的な場所だと感じていました。

前職では長野県の金融機関に勤務しており、地域の方々と接する中で「より広い視点で地域全体の発展に貢献したい」と考えるようになり、福井県に移住し、県職員を志望しました。

## ▶現在の仕事内容は？

産業労働部経営改革課の金融グループで、中小企業者向けの制度融資の設計や、事業協同組合への高度化資金の貸付、回収業務などを担当しています。

前職での融資業務やお客様対応の経験を活かしながら、中小企業者が社会課題や経済情勢に対応するための融資制度の設計や、工業団地の造成支援など、希望していた広い視点で地域に貢献する業務に取り組みしています。

福井県庁に関するあなたの「ギモン」に職員がお答えします

## 福井県庁ナビゲーター制度

福井県の仕事に興味がある学生や社会人の方が、県の職員(ナビゲーター)から「県庁の仕事」や「県職員の魅力」等について個別面談(1対1)で話を聞くことができる制度です。  
※採用試験、選考試験の可否に一切影響するものではありません。

### ▶対象

就職先として県庁の仕事に興味のある方(申込日時時点で高校1年生以上の方)

### ▶職種

行政、福祉・心理、農学、林学、水産、建築、土木(総合)、電気、機械・金属、栄養士、化学、獣医師、薬剤師、保健師、原子力

## ▶申込の流れ

- 1 福井県職員募集案内HPから申込  
TOP▶ナビゲーター制度▶申込フォーム
- 2 担当ナビゲーターが決定  
申込から2週間以内に申込者にご連絡します
- 3 日程調整後、面談  
時間は1時間程度、1対1での面談となります  
面談場所はナビゲーターの職場等  
(来庁が困難な方等はオンラインでの実施も可能)



詳細はHPをご確認ください

資格や専門知識を活かしたいあなたへ

## 選考採用試験について

一般の競争試験とは別に、看護師や保健師等、特殊な専門的知識や技能、資格免許を必要とする職種については、選考という試験制度により採用を行っています。

## ▶令和7年度に実施した選考採用職種

- 獣医師 ●助産師 ●作業療法士 ●船員
- 薬剤師 ●臨床検査技師 ●臨床工学技士 ●原子力
- 保健師 ●医学物理 ●デザイン(任期付) ●文化財調査員
- 看護師 ●理学療法士 ●学芸員

※これらの職種は毎年度採用があるとは限りませんので、ご注意ください。

選考試験の日程等は、職種により異なりますので、福井県職員募集案内ホームページでご確認ください。

さらに詳しい情報はHP・SNSをご覧ください



### 福井県職員募集案内HP

募集情報や過去の試験問題例、試験案内などを公表しています。



### 採用PR動画

YouTube・Instagram・TikTokにて動画を配信しています。



福井県職員採用

県職員の業務や職場の魅力をSNSアカウント「クローズアップ県庁」で配信中

Instagram・TikTokで「クローズアップ県庁」を検索!